

——マイクロ波・ミリ波技術の最前線小特集（英文論文誌 C）論文募集——

マイクロ波・ミリ波技術の最前線小特集編集委員会

携帯電話や無線 LAN といった広帯域通信からセンサ網のような狭帯域通信まで、無線通信の需要は増大し続けています。更には、電力伝送やレーダ、イメージングシステムといった通信以外へのマイクロ波・ミリ波技術の応用も注目を集めています。また、サブミリ波技術への注目も非常に高まっています。そこで、関連の研究成果を基礎から応用まで幅広く発掘することを目的として、マイクロ波・ミリ波技術に関する小特集（平成 27 年 7 月号）を企画しました。奮っての御投稿をお願い致します。

1. 対象分野

主な分野は以下のとおりですが、これらに限定するものではありません。

- ・能動素子，受動素子
- ・能動回路（発振器，通倍器，混合器，増幅器など）
- ・受動回路（フィルタ，共振器，カップラ，メタマテリアルなど）
- ・マイクロ波電力伝送技術
- ・アンテナ及びその集積化技術
- ・マイクロ波／ミリ波/THz 波センサ技術，イメージング技術
- ・マイクロ波フォトンクス
- ・IC 及び高周波モジュール設計技術，シミュレーション技術
- ・IC 及び高周波モジュール評価技術
- ・IC 及び高周波モジュール実装技術

2. 論文の執筆と取扱い

通常の英文論文と同一とします。原則として刷り上がりペーパー：8 ページ，ブリーフペーパー：4 ページ以内（厳守）とします。詳細は Information for Authors (http://www.ieice.org/eng/shiori/mokuji_es.html) を御参照下さい。査読後の再提出期間（通常は 60 日）を短縮する場合がありますので，あらかじめ御了承下さい。本小特集への論文投稿については下記を御参照下さい。

3. 投稿方法

査読作業の円滑化を図るため，本小特集では論文の電子投稿を行います。以下の手順で御投稿下さい。

https://review.ieice.org/regist/regist_baseinfo_e.aspx から登録を行って下さい。また，Web 上で著作権の譲渡手続きを行って下さい。なお登録時には必ず“Journal/Section”で [Special-MM] Special Issues on Microwave and Millimeter Wave Technologies を選択して下さい。[Regular-EC] を選択しないで下さい。

4. 論文投稿締切日 平成 26 年 10 月 30 日（木）必着

5. 問合せ先

山口 陽

日本電信電話株式会社未来ねっと研究所ワイヤレスシステムイノベーション研究部

〒239-0847 神奈川県横須賀市光の丘 1-1

TEL [046] 859-2791, FAX [046] 855-1497, E-mail yamaguchi.yo@lab.ntt.co.jp

6. 小特集編集委員会

委員長 西川健二郎（鹿児島大）

幹事 小西善彦（広工大），藤島 実（広島大），山口 陽（NTT）

委員 大平 孝（豊橋技科大），加屋野博幸（東芝），河合 正（兵庫県立大），川島宗也（NTT），吉川俊英（トランスフォーム・ジャパン），笹森崇行（秋田県立大），真田篤志（山口大），篠原真毅（京大），関 智弘（NTT），高田潤一（東工大），植橋祥一（NTT ドコモ），山中宏治（三菱電機），山本和也（三菱電機）

7. 付記

* 論文採録の場合は掲載料をお支払い頂く必要がありますので，あらかじめ御了承下さい。

* 投稿に際しては，著者のうち少なくとも 1 名は本会会員でなければなりません。ただし招待論文に関してはこの限りではありません。必要な投稿資格を満たしていない著者からの投稿論文については，投稿を受け付けないこととなりますので御注意下さい。入会の案内はこちらを御覧下さい。

<http://www.ieice.org/jpn/nyukai/index.html>